

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●小林美駒騎手がJRA通算100勝を達成

8月29日(土)の2回札幌3日・第4レースではアニマレイが1着となり、同馬に騎乗した小林美駒騎手(美浦・鈴木伸尋厩舎)は、現役90人目となるJRA通算100勝(1302戦目)を達成しました。

●岩田望来騎手がJRA通算700勝を達成

8月30日(日)の3回新潟4日・第10レースではクライングナウが1着となり、同馬に騎乗した岩田望来騎手(栗東・フリー)は、史上72人目・現役28人目となるJRA通算700勝(5854戦目)を達成しました。

●戸崎圭太騎手がJRA通算1万2000回騎乗を達成

8月30日(日)の3回新潟4日・第7レースとして行われた日本海Sでチャリングクロスに騎乗した戸崎圭太騎手(美浦・田島俊明厩舎)は、この騎乗で史上42人目・現役23人目となるJRA通算1万2000回騎乗を達成しました。

●夏の新潟・中京のリーディングジョッキーが決まる

8月30日(日)をもって夏季の新潟競馬および中京競馬が終了しました。新潟では2回新潟・3回新潟で計12勝をあげた田辺裕信騎手(美浦・フリー)が開催リーディングジョッキーとなり、中京では2回中京・3回中京で13勝・2着6回・3着6回の成績を残した岩田望来騎手が、13勝・2着6回・3着2回の坂井瑠星騎手を3着数で上回り開催リーディングジョッキーに輝きました。

●西村太一騎手が引退

西村太一騎手(美浦・フリー)からの申請により、8月31日(月)付で騎手免許を取り消しました。JRA通算成績は1967戦66勝でした。

●ジョッキーベイビーズの東北・新潟地区代表が決定

8月23日(日)、福島競馬場で全国ポニー競馬選手権「第16回ジョッキーベイビーズ」の東北・新潟地区代表決定戦が実施され、佐々木鉄大さん(中学1年生)が同地区代表に決定しました。ジョッキーベイビーズ決勝大会は、10月11日(日)、東京競馬場にて開催されます。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●重賞初挑戦のイッテラッシャイが不來方賞(盛岡)を逃げ切る

不來方賞(JpnⅡ、3歳、9月1日、盛岡、2,000^円)は、逃げたイッテラッシャイ(戸崎圭太騎手、牡、父ミスチヴィアスアレックス)が3番人気のロックターミガンを6馬身引き離し、1番人気に応えました。シーズザスローンが3着に入り、2番人気のリアライズグリントは4着、メイショウコマチは7着に敗れています。

●サマーチャンピオン(佐賀)でマテンロウコマンドが重賞4勝目

サマーチャンピオン(JpnⅢ、9月3日、佐賀、1,400^円)は、トップハンデの59.5^{kg}ながら単勝1.6倍の支持を集めたマテンロウコマンド(松山弘平騎手、牡4歳、父ドレフォン)が先手を取り、向正面で一旦2番手に控えると、3コーナー過ぎに先頭を奪い返して2番人気のインユアパレスに1馬身半差で完勝。ハッピーマンが3着、3番人気のストレングスが4着、途中から逃げた昨年の覇者ヤマニンチェルキが5着と、JRA勢が上位を独占しました。

●セイカールトンが盛岡芝の重賞を連勝【各地の2歳重賞】

ジュニアグランプリ(8月23日、盛岡、芝1,600^円)は、好位から一旦後方まで下がったセイカールトン(牡、父マカヒキ)が外に持ち出されると鋭く伸び、残り50^mで差し切って単勝1.3倍の支持に応え若鮎賞から芝重賞を連勝。ブリーダーズゴールドジュニアC(8月20日、門別、1,700^円)は、逃げた7番人気の伏兵アンサラー(牡、父モーニン)が後続をクビ差で振り切っています。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●豪年度代表馬はオータムグロー

オーストラリア競馬の2025/26年シーズンにおける年度代表表彰が現地8月27日に発表され、年度代表馬にはオータムグロー(牝4歳(現5歳)、父ジオータムサン、C.ウォーラー厩舎)が輝きました。同馬はシーズン8戦7勝。G1のエプソムH(芝1,600^円)、ペリーエレガントS(芝1,600^円)、ジョージライダーS(芝1,500^円)を制したほか、ゴールデンイーグル(芝1,500^円)にも勝ちました。8月からスタートした今シーズンも現役を続行しており、8月22日にはG1ウィンクスS(芝1,400^円)を制しています。

●G1トラヴァーズS〜リーディングチェンジが制す

8月29日にアメリカ・ニューヨーク州のサラトガ競馬場で行われたG1トラヴァーズS(3歳、ダート2,000^円)はM.フランコ騎手が手綱を取ったリーディングチェンジ(牡、父ガンランナー、B.コックス厩舎)が逃げ粘るG1ブリークネスSの勝ち馬ナボレオンソコをゴール前でかわして、半馬身差で優勝しました。G1ケンタッキーダービーとG1ベルモントSを連勝したゴールデンテンポは後方から追い上げたものの3着に終わりました。勝ったリーディングチェンジは2020年のケンタッキーオークス馬シーデアズザデビル(父デアデビル)の半弟。今年6月のデビュー戦(ダート1,400^円)を6馬身半差で楽勝すると、続く前走7月のG3インディアナダービー(ダート1,700^円)も接戦を制して優勝していました。